

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」備前三門校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	パーティションで区切って支援ブースを確保している。	少し狭いとは思いますが、みんなで協力し、共有スペースなどを交代で利用している。
	②	職員の配置数は適切である	4	1		指導員がもう一人増えると働きやすくなるし、休暇もとりやすくなる
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		一人一人に合わせて工夫している。 支援室と事務室を意識することができている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		清潔で心地よく過ごせるように清掃をしっかりとっている。 子どもに合わせて空間を変えて過ごしやすい工夫をしている。 ミーティングで共有している。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		普段からフィードバックなどでご意見を伺う機会を設け、よりよい支援が行えるように努力している。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		HPに掲載している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		毎月研修を受けているため、しっかり機会を確保できている。	
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		事業所内相談数が増え、客観的に評価する機会や材料が増えた。	

支援の提供					よく話を聞かせてもらい、聞いてもらっている。		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	凸凹がある子の対応なので、検査結果が中心。		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5				
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		計画に沿った支援を心がけるとともに、新しく見えてきた課題にもアプローチしている。 計画時、支援前など適宜確認している。		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	ミーティングを実施している。 困ったときは相談し合っている。	複数担当になれば、チームとして立案できると思う。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5				
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5		適宜組み合わせている。		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		当日の役割分担やお願い事は話し合っている。		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		ミーティングで共有している。		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		各自が意識して記録の作成を行っている。		
	⑳	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		計画的に実施している。		
	関係機関や	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		参加している。	
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1		

保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				対象者なし	
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				対象者なし	
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			園や学校への見学、ケース会議等を行っている。	
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5				
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			相談支援事業所の方と連携している。	
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	2		イベントで交流はあるが、定期的ではない。地域の子どもが参加できるイベントも実施している。	
保護者への説明責任等	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	2		参加している。	
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			フィードバックや事業所内相談で共通理解を図っている。	
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	2		事業所内相談を活用して、保護者の方に助言をすることはある。	本を借りている。
	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			契約時、変更時に随時説明をしている。	
保護者への説明責任等	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	1		丁寧に説明をし、同意を得ている。	
	㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			相談があった際には適切に応じている。	
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1		キラカフェを実施し、保護者同士の連携を図る機会を設けている。	

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5				
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		ブログを月2回更新している。 LINE・Instagramの活用している。	LINE やInstagramの周知をもう少し広げる。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5		鍵付きロッカーに保管している。		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5		夏祭りイベントを開催した。 見学をいつでも受け入れている。		
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		各種マニュアルを作成し、玄関前ファイルに保管している。	
		④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		毎月実施している。	
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		アセスメント、保護者の聞き取りの中で把握している。		
④④		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2		食事提供は行っていない。	
④⑤		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		共有できている。 月6件以上作成している。		
④⑥		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		虐待防止の研修機会があり、意識できている。		
④⑦		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		研修を受けている。 保護者への説明も丁寧に実施している。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」備前三門校 保護者等数（児童数）：18人 回収数：18人 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	3			広ければよいと思う。それぞれのプライバシーを確保してくれている。確保されている。	限られたスペースを有効的に活用するようにつとめています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	18				適切。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17	1			危なくないようにしてもらっている。なされている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17	1			できている。	
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	17	1			細かく計画してもらっている。作成されている。	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15			3	設定されている。	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18				行われている。	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	18				メニューを考えながらしてくださっている。工夫されている。その時の様子に合わせてくれている。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	2	1	9	ある。	個人情報に配慮しながら子供たちが楽しめるイベントを企画しています。
保護	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17		1		適宜説明があります。説明された。	教室内に掲示しています。

者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	17			1	説明を受けた。		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	10	3	2	3	変わったこと、気になることはないか、いつも聞いてくれる。受けていない。	キラカフェという保護者会を定期的に行っています。	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	17	1			保育園での様子も考えて声掛けをしてくれている。できている。	きりりだけでなく、保育園や幼稚園で、子どもたちが力を発揮できるように意識して関わっています。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	1		1	いろんな先生が声をかけてくださっている。行われている。	フィードバックを中心に助言をしています。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14	1	1	2	いろんなイベントを考えてくれている。	今後もニーズに合わせたイベントを企画していきます。	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	18				対応されている。		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18				いつも細かく報告してくれるので、ありがたいです。なされている。	保護者の方がこまめに情報共有してくださるので助かっています。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	15				3	ホームページもたまに見ています。なされている。	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	17			1		なされている。	
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	14		1	3		教室内に掲示していますが、もっとわかりやすくなるように配置を工夫しようと思います。	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14		1	3		毎月避難訓練を実施しています。	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	18				オレンジの先生！！と言っています。「今日はきりり？」と毎日保育園に行くと聞いてきます。楽しそうです。	曜日や時間帯によっては、疲れが出ている子どもたちもいるので様子を見ながら関わっています。	

⑳	事業所の支援に満足しているか	18			満足している。 きりに限ったことではありませんが、児童発達支援と放課後等デイサービスの単価が違いすぎるため、放課後等デイサービスの受け入れ事業所が極端に減っているように感じる。国にはこの差を埋める対応をしてもらいたい。	国の決めた制度に従って、運営は行いますが、保護者の方に満足していただけるように日々の支援に取り組んでいきます。
---	----------------	----	--	--	--	---

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。